

平成26年度の中山間地域プロジェクトチームの現場支援

1 現場支援の取組方針

- (1) 基本コンセプト 「次世代定住に向けた仕組みづくり」※
～ “人” を地域に入れる（残す）ための地域運営の仕組み～
- (2) 取組方針
- 部局横断体制のP Tが行う現場支援は、中山間地域活性化計画の1つの柱
 - 地域振興部が中心となり、地区の課題等に対して、部局横断体制により機動性のある総合的な支援を行い、定期的な検証を実施
 - 改めて現場支援を最重点課題に掲げ、取組を強力に推進
 - P Tとして具体的な小さな経済を回す仕組みの成功事例をつくっていく
- (3) 取組のステップ例 別紙のとおり

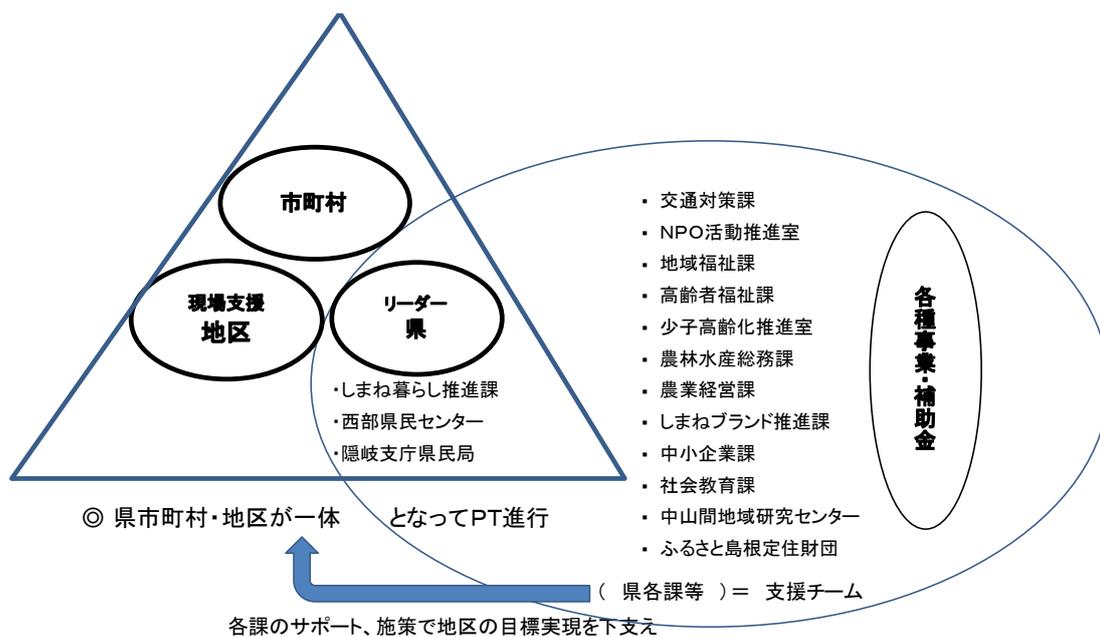
※ 「次世代定住に向けた仕組みづくり」とは



現場支援終了後も、地域が自発的に、住まいや収入の確保といった定住環境をつくっていくという地域づくりの流れが続いていくようにする

2 現場支援地区における推進体制（平成26年度事業方針）

- 県・市町村・地区が一体となって取組を推進
 - 市町村の主体的な取組を県が積極的に牽引
 - 地区支援リーダーによる進行管理＋支援チーム（県庁各課等）によるサポート
- （ ・ 地区の状況把握、とりまとめ、進行スケジュール管理
・ 市町村との調整
・ 支援チーム調整／地区の状況、段階に応じて県各課へコーディネート ）



○地区別現場支援チーム会議の開催による情報共有の徹底（毎月1回）

- ・地区の状況把握
- ・地区の目標に向けた行動の確認、プロセスの共有、進捗スケジュール確認
- ・課題達成に向けた対策検討（市町村、地区の立場に立った対策）
- ・市町村、地区支援リーダー、当該地区の支援に関わっている県機関で実施

3 役割分担

役職	役割	
しまね暮らし推進課長	PT座長	●PT運営の全体総括、議会对応
中山間地域支援GL	現場支援総括	●支援地区の全体の把握、進捗管理、議会对応
各GL、課長 しまね暮らし推進課 隠岐支庁県民局 西部県民センター	G員（課員）担当地区 進捗管理	●G員（課員）が担当する地区の状況について随時把握 ●課題や困り事があれば現場に向向いて調整
地区担当 しまね暮らし推進課 隠岐支庁県民局 西部県民センター	地区支援リーダー [責任者]	●地区支援の責任者、ファシリテイト役 ●現場に入りPTメンバー等調整しながら支援にあたる
県庁各課	地区支援チームメンバー	●専門的分野からのアドバイス、補助事業等の活用
中山間C研究員 (中山間C嘱託研究員)	地域づくり専門的見地からアドバイザー	●地区支援リーダーと一体となって現場に入り、データ提供、事例紹介など専門的見地からアドバイス

※県庁各課にお願いしたいこと

現場に入り、地域を全体的に俯瞰しながら、不足するもの、課題を把握していく中で、各分野の専門的なアドバイスや補助金の活用が必要になってまいります

その調整や橋渡しはファシリテイト役の地区支援リーダーが行いますので、是非、それぞれの専門分野でのご助言や補助金交付等についてご協力をお願いいたします

4 選定状況

○現場支援地区として、これまでに16地区を選定済み

※今後の地区選定について

- ・ H26年度9月頃を目途に選定を終了し、計画期間終了（～H27）までの地区支援を実施
- ・ 計画期間終了を見据え、ある程度道筋が付きそうな見込みの高い地区を支援地区として選定していく

5 当面の共通した取組

(1) 課題の整理

○H25年度までの反省（振り返り）も含め、各地区の課題を整理し、今年度の支援方針を協議 → 課題によって支援チームの再編

- ・ 県が支援すべき地区の課題の整理
- ・ その課題に対する県庁各課の支援と市町村の役割を整理
- ・ 今年度の目標・行動計画の確認・共有
- ・ 現時点での定住に向けたパッケージ（プラン）の確認

(2) H25年度の取りまとめ

○（1）を受けて、6月議会用の資料の取りまとめ